

2024年10月29日

2024年度計量生物セミナー

「“プラグマティック”な介入評価を統計学的観点から考える」

主催：一般社団法人 日本計量生物学会

1. 概要

日時：2024年12月19日（木）、20日（金）

開催形式：ハイブリッド開催（現地・Zoom Webinar）

現地会場：中央大学 後楽園キャンパス 5号館

5333教室（1日目午前）、5534教室（1日目午後、2日目午前）

〒112-8551 東京都文京区春日 1-13-27

<https://www.chuo-u.ac.jp/access/kourakuen/>

参加登録方法：オンラインポータルサイトから申し込み

ポータルサイトアドレス：<https://jbs-seminar2024.ywstat.jp/>

参加費：日本計量生物学会正会員 6,000円

日本計量生物学会学生会員 無料

日本計量生物学会非会員 15,000円

※非会員の方が参加登録時までに学会へ入会いただく場合には、会員参加として受付をします。入会については日本計量生物学会 HP (<http://www.biometrics.gr.jp>) をご覧ください。なお、日本計量生物学会では学生会員の年会費は無料です。

日本計量生物学会は免税事業者のため、インボイス非対応となります。

オーガナイザー：口羽 文（帝京大学）、吉田 瑞樹（ファイザー）、小山田 隼佑（東北大学）

運営委員：川口淳、口羽文、竹内文乃、長谷川貴大、横田勲

2. 内容・プログラム

【企画のねらい】

介入効果の評価において、リアルワールドで行うプラグマティックな研究は近年注目のキーワードです。一方で、その「プラグマティック」に求められるものは、介入の種類や研究目的によって異なり、研究計画やデザインの策定、解析方法の力点もさまざまになっています。本セミナーでは、プラグマティックな介入デザインとして、RCTを基本とする介入研究、ランダム化を伴う代替研究デザイン、擬似実験デザインの3つを取り上げ、応用事例とともにプラグマティックな要素に対する統計学的考察、研究デザインと解析方法の基礎を学ぶ機会を提供いたします。

【プログラム】

12/19 (木) 9:30 開場 会場：5号館 5333 教室

| | |
|---------------|---------|
| 10:00 – 10:05 | 開会のあいさつ |
|---------------|---------|

Part I. RCT を基本とする Pragmatic trial

| | | |
|---------------|--|----------------------|
| 10:05 – 10:35 | Pragmatic Trial の概要と最近の動向 | 吉田 瑞樹 (ファイザー) |
| 10:35 – 11:05 | Estimand フレームワークを用いた pragmatic trial の整理 | 尾崎 凌斗 (中外製薬) |
| 11:05 – 11:10 | 休憩 | |
| 11:10 – 11:45 | Case Study of Pragmatic Trials in the Respiratory Area | 永久保 太士 (GSK) |
| 11:45 – 12:20 | A Pragmatic Trial: PRIDE Study | 白石 亜矢子 (ヤンセンファーマ) |

Part II. ランダム化を伴う代替デザイン 会場：5号館 5534 教室

| | | |
|---------------|--|-----------------------|
| 13:30 – 14:15 | ランダム化を活用した代替デザインの概観 | 口羽 文 (帝京大学) |
| 14:15 – 14:55 | プラグマティックな介入研究の必要性と展望：保健医療現場の意思決定に役立つエビデンスの構築 | 島津 太一 (国立がん研究センター) |
| 14:55 – 15:15 | コーヒープレイク | |
| 15:15 – 16:15 | クラスターランダム化試験の概説と派生的なデザイン | 小山田 隼佑 (東北大学) |
| 16:15 – 17:15 | クラスターランダム化試験の解析手法および例数設計 | 稲葉 洋介 (千葉大学) |
| 17:15 – 18:00 | SMART と解析手法の紹介 | 小島 将裕 (統計数理研究所) |

19:00 – 21:00 懇親会

12/20 (金) 9:30 開場 会場：5号館 5534 教室

Part III. 擬似実験的デザイン

| | | |
|---------------|---------------------------|------------------|
| 10:00 – 10:30 | 臨床疫学研究における擬似実験デザインの使いどころ | 大野 幸子 (東京大学) |
| 10:30 – 11:25 | 回帰不連続デザインの理論と応用 | 高橋 将宜 (長崎大学) |
| 11:25 – 12:20 | 医学研究における差の差デザインと分割時系列デザイン | 佐藤 俊太郎 (長崎大学) |

| | |
|---------------|---------|
| 12:20 – 12:25 | 閉会のあいさつ |
|---------------|---------|

3. 参加費

本セミナーに参加する方の参加費用は以下の通りです。

正会員：6,000 円（賛助会員は 1 名のみ会員参加費とする）

学生会員：無料

非会員：15,000 円

- ① 非会員の方が参加申込受付時に学会へ入会いただく場合は、会員参加として受付をします。入会については日本計量生物学会 (<http://www.biometrics.gr.jp>) をご覧ください。
- ② 日本計量生物学会では学生会員の年会費は無料です。この機に入会をご検討ください。

4. 懇親会

12月19日(木)のセミナー終了後、講師をまじえた懇親会を開催します(定員50名)。

日時： 12月19日(木) 19:00~21:00

場所： ニクバル クオン

<https://ghyh700.gorp.jp/>

〒162-0822 東京都新宿区下宮比町1-1 相澤ビル B1F

(セミナー会場より徒歩20分、飯田橋駅から徒歩1分)

参加費：4,000~5,000 円(参加者多数の場合、4,000 円となります。)

※セミナー申し込みの際に懇親会参加の有無をお選びください。参加費は当日現金でお渡しいただくか、前日までの銀行振込(振込手数料は参加者負担)にてお願いいたします。

※懇親会の申し込み後、懇親会参加をキャンセルされる場合は、メール(biometrics2018seminar@gmail.com)でご連絡ください。また、以下のキャンセルポリシーに基づきキャンセル料が発生します。

- ・12月17日(火)正午以降のキャンセルまたは当日不参加：懇親会参加費を全額

5. 当日の参加方法・キャンセルポリシー

詳細は後日、メールでご案内します（事前に申し込みをお願いいたします）。

本セミナー参加費お支払い後は原則としてキャンセルできません。重複したお申込みをされませんようご注意ください。

6. 試験統計家認定更新のための単位認定と参加証発行

試験統計家認定の更新を申請される方は、有効期間内に 30 単位を取得する必要があります。本セミナーは“5 単位”となっており、1/6 を満たします。単位認定をご希望の方は、登録時に「試験統計家の単位認定の希望有無」の項目で「希望する」を選択してください。現地参加の方には、受付時に出席確認をします。オンライン参加の方には、当日 Zoom のチャット機能を利用して、そこに提示した URL を押下していただくことで出席確認を行います。確認タイミングはセミナー1日目・2日目の各1回としますが、そのいずれかで確認できれば出席したものとみなします。後日、単位認定を希望し、出席確認された方に受講証をメールでお送りします。また、希望者には試験統計家認定とは別に参加証を発行します。出席確認は試験統計家認定の確認と同じく Zoom のチャット機能を用います。

7. 問い合わせ先

日本計量生物学会事務局

bsjannual@biometrics.gr.jp

当日の緊急連絡先は特設ポータルサイト内にて提示いたします。